



1 地域連携ICカード「cherica(チェリカ)」サービス開始!
「yamako cherica」「shoko cherica」サービス開始記念式典(令和4年5月14日、山形市)

県が導入を支援した、県内の路線バス等をキャッシュレスで利用できる地域連携ICカード「cherica(チェリカ)」のサービスが5月14日から開始されました。

「cherica」は、山交バス株式会社、庄内交通株式会社、山形市、米沢市、山交ハイヤー株式会社の対象路線バスの乗車券や定期券などの地域独自サービスに加え、Suicaエリアでの電車の乗車券や買い物でのキャッシュレス決済などSuicaのサービスも利用できる便利なカードです。「cherica」を利用することで、小銭や両替が不要になるほか、対象路線バスの利用に応じて、バス運賃に利用できるポイントが付与されます。



運賃箱に「cherica」をかざすだけでバス運賃を支払えます

記念式典に出席した吉村知事は、「デジタル技術の活用により、利用しやすく、効率的な公共交通ネットワークの構築を進め、地域公共交通のさらなる利便性向上と利用拡大を図りたい」とあいさつしました。

2 政府の施策等への提案を実施
令和5年度政府の施策等に対する提案(令和4年5月25日、東京都)

吉村知事が坂本県議会議長とともに、関係府省を訪れ、「令和5年度 政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を行いました。

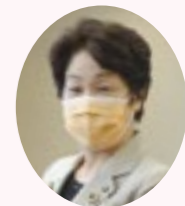
この取組みは、県や県議会、市町村などで構成する山形県開発推進協議会(会長:吉村知事)が、本県の発展のために必要な施策を取りまとめ、今後の政府の施策展開および令和5年度の予算編成に向けて政府に提案するものです。

吉村知事と坂本議長は、赤池内閣府副大臣、中村農林水産副大臣、島村厚生労働大臣政務官、岩田経済産業大臣政務官および加藤国土交通大臣政務官に対し、「子育て費用の無償化等による子育て世帯の経済的負担の軽減」や「主食用米を中心とした水田農業への支援の充実」など所管の主要な項目について、山形県の総意として提案を行いました。提案の実現に向け、今後ともさまざまな機会を捉えて政府に働きかけてまいります。



中村農林水産副大臣(中央)に提案書を渡す吉村知事と坂本県議会議長

新しい日常を県民の皆さまとともに



県民の皆さま、事業者の皆さまには、新型コロナの感染防止対策にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

新型コロナについては、依然として収束までには至らない状況にありますが、近年中止となっていたイベントが再開されるなど、コロナ以前の生活を少しずつ取り戻してきております。

このため、少しでも新規感染者数を減らし、医療提供体制がひっ迫するリスクを下げるのが重要になりますので、引き続き、油断なく警戒をしながら、可能な限り日常生活を取り戻す取組みを継続していく必要があります。

県民の皆さまには、状況に応じた不織布マスクの正しい着用や、ゼロ密(密閉、密集、密接の全てを避ける)、換気の励行、こまめな手洗い、消毒など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。特に、マスクの着用につきましては、これからの時期は熱中症のリスクが高まりますので、場面に応じた適切な着用をお願いいたします。

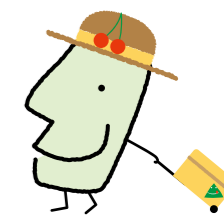
県としましても、県民の皆さまの命と暮らしを守るため、感染防止の徹底や保健・医療提供体制の確保に努めながら、経済回復に向け、しっかりと取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

山形県知事 吉村美栄子

「新しい旅のエチケット」を守り、安全・安心な旅行を!

これから夏休みやお盆など、夏の観光シーズンを迎えます。県内では「出羽三山」の開祖であり疫病退散の神でもある蜂子皇子御尊像の特別拝観や最上三十三観音子歳連合御開帳など本県が誇る精神文化の特別イベントが実施されており、山形花笠まつりや赤川花火大会をはじめ各地でさまざまなお祭りやイベントが開催される予定です。

「新しい旅のエチケット」をお守りいただき、ぜひお楽しみください。



「新しい旅のエチケット」の主な内容

詳しくはこちら ▶ 観光庁ウェブサイト



日頃から、健康チェックを習慣に

お店・宿選びの選択肢、感染対策忘れずに 認証店などの利用

旅行前、体調不良? 旅控え

宿泊編
黙浴で、静かにゆったり「いい湯だな」

交通編
風入れて、車内も心もリフレッシュ
車内・機内でも、マスク忘れぬエチケット

観光施設ショッピング編
お土産を選ぶ前後に、手の消毒

▶ 問い合わせ © 観光復活戦略課 ☎023-630-3821

県内の観光情報は 検索

※ 5月31日時点の情報です。最新情報はホームページでご確認ください。